

杉、松、檜…、
木の家に住まう喜び。

木造住宅の良さを再発見！

発行 社団法人全国木材組合連合会

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-3 永田町ビル 6F

TEL 03-3580-3215

<http://www.zenmoku.jp/>

制作 NPO法人才の木

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-1-17 タカサキヤビル 4F

TEL 03-3813-1567

<http://www.sainoki.org>

編集協力 株式会社一条工務店

ミサワホーム株式会社

協同組合東京の木で家を作る会

発行日 平成19年3月

このパンフレットは第三セクター方式による重度障害者多数雇用企業の東京都プリプレス・トップバン(株)により印刷されました。

39
GREENSTYLE
C-(1)-060009

Point 1

歴史のなかで育まれた木造軸組住宅

木造軸組は、古来より受け継がれてきた伝統的な構法です。空間構成の自由度が高い、自然素材に囲まれた心地良い空間が生まれるなど、優れた長所をもっています。しかし、戦後の建築基準法の度重なる改正や、生活レベルの向上に伴うライフスタイルの変化から、軸組構法は年々減少するようになり

ました。さらに、高度成長期の大量生産・大量消費の時代には「住宅」が産業としての「工業化住宅」という商品になり、「欠点が多い」、「完成までに時間がかかりすぎる」と、ますます敬遠されました。

木造住宅は、四季をもつ我が国の気候風土に最も適した住宅です。今日では、戸建て住宅の7割以上が木造住宅であり、また、一戸建てを希望する消費者の8割近くが木造住宅を望んでいます。

なかでも、木造軸組住宅は古来から培われてきた日本の技術を駆使して、随所に日本の四季を快適にさせるよう工夫が施されています。また、様々な立地条件や建築主のニーズに合わせた柔軟な間取り、増改築の容易性などの利点をもっています。

昔は金物を使用しない方法で建てられていましたが、現在では、土台と柱、柱と梁・桁、土台と火打ち、筋交いなどを補強金具などでそれぞれ強固にジョイントし、耐震性・耐久性を高めています。

木材は、鉄筋コンクリートや鉄骨などに比べて強度的に弱いというイメージをもたれる方もいますが、実は木材は、

- ・比強度（材料の重量に対する強度）が高い
- ・特有の柔軟性（壊れるまでにかなりしなって、ねばり強い）をもつ
- ・耐火性（火災時に形成される表面の炭化層が内部への延焼を遅らせ、最後まで家を支え続ける）がある

といった特徴をもっているため、災害に対して、鉄筋コンクリートや鉄骨などに劣らないほどの強い家をつくることのできるのです。

[家の建て方]

01

基礎完了



02

鉄骨架台



03

木製土台



04

骨組み

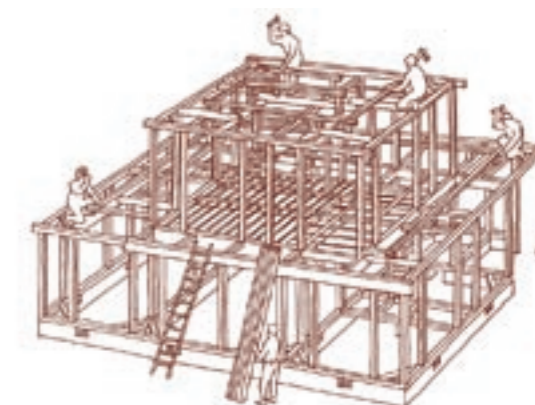


05

竣工直前



これは免震住宅の建て方です。



建て方を表すため、足場のイラストは省略しています。
社団法人日本木造住宅産業協会編「木造軸組の家」より



安心・安全な強い家は、木造でも手に入ります。

Point 2

ライフスタイルに柔軟に対応できる木造住宅

木造軸組構法（在来工法）の住宅は、土台の上に建てた柱、梁、桁、筋交いなどの骨組みで構成されます。上からかかる垂直の荷重は、柱、梁などの縦と横の部材で支え、地震や強風などといった水平にかかる荷重は、筋交いなどの斜めの部材で支えます。家の主要な部分は、細長い形状の製材で構成されており、柱や梁の位置と長さを、比較的自由に選べる

ので、他の工法に比べて自由度が高く、建築主の希望に添った間取りやデザインの住宅を建設することが可能です。

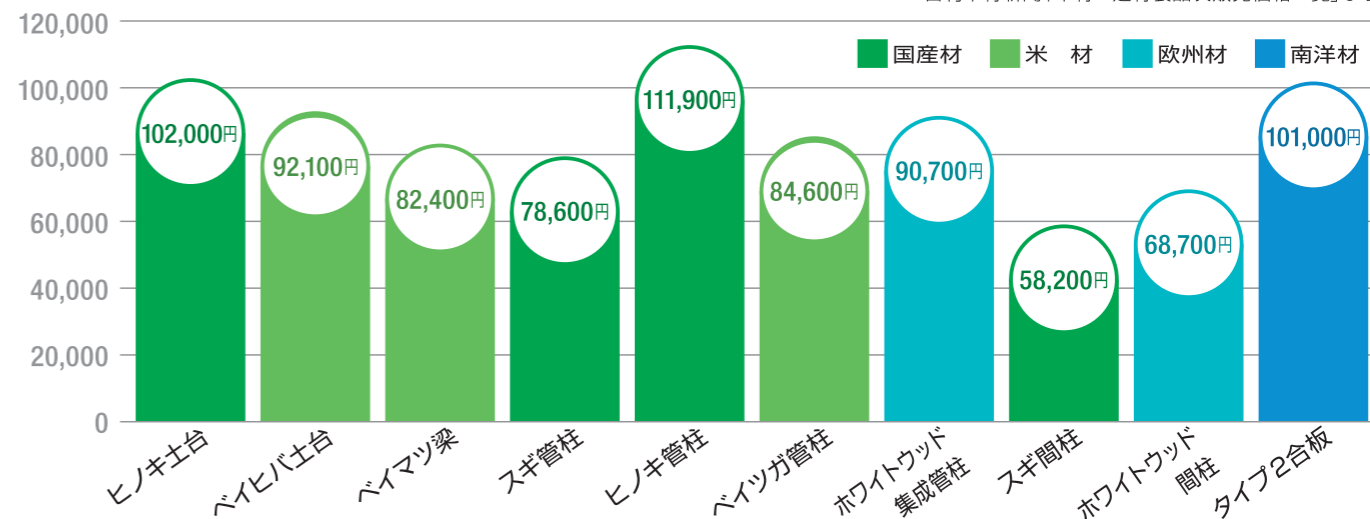
構造材の部分的な交換なども可能なため、痛んだ箇所や住む人の好みやライフスタイルの変化に対しても比較的lowコストで、増改築やリフォームを行うことができます。

[進化する木材]

[小売業者での製材店頭価格]

東京都下小売店店頭販売価格（円/m³）

日刊木材新聞「木材・建材製品次販売価格一覧」より

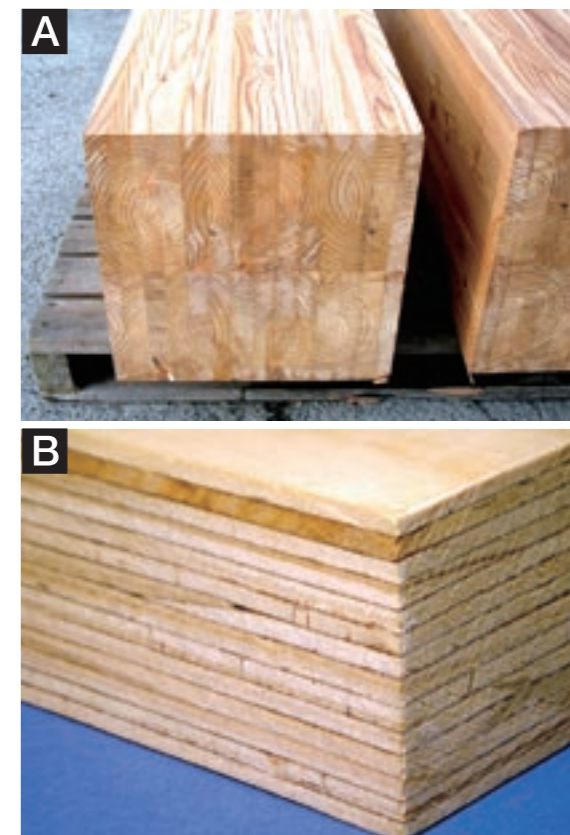


木材は、かつては価格・需要ともに、国産材>外国産材という図式が当てはまりましたが、近年、国産材の競争力は増してきており、製材品の種類によっては、

国産材<外国産材という図式が当てはまるようになってきました。つまり、消費者が好みに合わせて建材を選べるようになってきたのです。

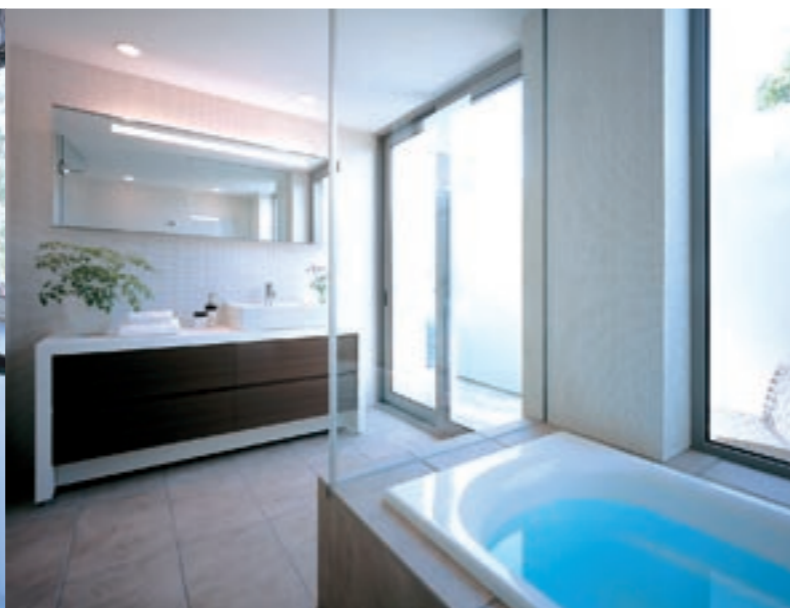
[木材を余さず活用する集成材や合板など]

無垢の木材を森林資源からの一次加工品だとすると、集成材や合板は二次加工品といえます。これらは鋼やコンクリートといった材料に比べて、単位重量あたりの強度、防火性、断熱性、吸音性、調湿性などにおいて優れた性質をもっています。二次加工品のなかには、単板（ベニヤ）の繊維方向を合わせて接着したLVL（Laminated Veneer Lumber）や、切削または破砕された木材の小片に接着剤を塗布し、熱圧成型したOSB（Oriented Strand Board）などがあります。これらの木質材料は、木材を科学の力でより優れた材料に仕立て上げ、木ならではの長所を維持あるいはパワーアップした画期的な建築材料です。



大断面カラマツ集成材 **A**
ラジアータパイン LVL **B**

お好きな木材で、あなた好みの木の家を。



WOOD HOUSE

Point 3

自然に包まれる木造住宅

「人は木の家が好きだ。」それは自然素材に囲まれた住環境のなかで何ともいえないやすらぎを感じ、心が洗われるからにほかなりません。それらは、木を見ることでリラックスするという視覚による効果だけでなく、木材から漂ってくる木の香りも重要な役目を果たしています。木の香りの元は α -ピネンやヒ

ノキオールなどの精油で、イライラを押さえリラックスさせる精神安定効果、防かび性や抗菌性、殺ダニ性があります。ほかには、ロジンと呼ばれ香料などに使われる天然樹脂成分もあります。そして、何よりも木に触れたときの肌触りは優しく暖かいのです。

「木造」はもちろん建築工法のひとつです。しかし、果たして住まう人は「木造」という工法選択だけをしているのでしょうか。いいえ、「木造=木という自然」という「環境選択」をしているのです。

「木造住宅」は、多様な色と香り、様々な健康効果を得ることができます。また、日常を奏でる様々な音は木による吸音効果で適度に調整されます。さらに、光に照らされる暖かな色と、温度・湿度によって肌触りを微妙に変化させます。「木造住宅」は優しく暖かい肌触りで、やすらぎの環境を与えてくれるのです。

[環境選択としての木の家]



住宅に使われる構造材料として、木は、鋼やコンクリートと違い、様々な雰囲気を醸しだしてくれます。例えば、同じ木造住宅でも、どの木材を使うかによって、全く違った雰囲気になります。

一般的に、地球の資源である木を使う=環境に優しくないのでは?という考え方があります。しかし、適切に木材を使うことは、実は、森林の適切な整備につながり、それは間接的に地球の環境に良い影響を与えているのです。

「木」という自然のなかで暮らしませんか?

